

大野中学校学習の手引き

第3学年



() 年 () 組 () 番
氏名 ()

大野中学校のみなさんへ

夢を持ち続けよう。

昨年の大野中学校のアンケートで、夢や目標を持ち、「がんばろう！」と思っている生徒は、全国平均と比べても高かったです。また、困難なことでも挑戦しようとする気持ちもしっかりと持っているようです。

けれども、苦手な教科に粘り強く取り組んだり、家庭学習の方法をきちんと自分で考えて取り組んでいる割合は残念ながら、そんなに高くはありませんでした。

みなさんには、ぜひ夢を持ち続けて、『頑張り続けること』で成長し、そこに喜びを見つけてほしいと思います。そのために、この「学習の手引き」を役に立たせてほしいと思います。

<学習することで>

☆自分の可能性が育ち、夢の実現につながる。

☆知ったり、調べたり、考えたり、経験したりして、うまくいったりいかなかったりすることで成長し、これからさらに、学び続ける力になる。

☆社会（地域）をよりよくするために貢献できる人になれる。

☆将来の趣味や特技に生かして、豊かな「心」で生活を送ることができる。 など・・・。

<学習環境チェック> 自分でチェックしてみよう。

1学期	2学期	3学期	項 目
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	①余裕をもって、学校に登校できる時刻に起きている。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	②朝食をしっかりと食べている。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	③帰宅時間を守っている。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	④テレビやゲーム、携帯電話などは、時間を決めて利用している。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	⑤決った時刻に家庭学習を始めている。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	⑥前日に、次の日の授業の準備を終えている。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	⑦夜ふかしをせず、決った時刻に寝ている。
			←合計

(^v^) 診断のめやす (^v^)

6個以上：生活のリズムができています。

4～5個以上：生活のリズムがだいたいできていますが、できていないところを改善しましょう。

3個以下：生活のリズムができていません。毎日の生活を見直して下さい。

3年「国語科」の学習

1. 教科の特色（国語科学習の心がまえ）

- (1) 国語の勉強に、しっかりと取り組むことができる。
- (2) 自分の考えをはっきり話せる。他の人の考えをしっかりと聞ける。
- (3) 自分の考えを、文や文章に書き表すことができる。
- (4) 文や文章から、内容を読み取ることができる。
- (5) たくさんの漢字や言葉を、自分のものとして、しっかりと身につけることができる。

国語科とはゆっくりと力のつく教科です。授業の学習だけでは十分な力はつきません。普段から文字や言葉や文章に関心をもつことが大切です。例えば、新聞を読む、本を読む。そして、わからない文字や言葉が出てきたら、辞書を引く。そうした日々の努力の積み重ねと国語科の時間の学習とが一緒になってこそ、本当の力が少しずつ、しかし確実についていくのです。あせらず、あきらめず、じっくりと取り組んでください。

2. 今年度の学習計画

単元（教材）のなまえ	キーワード・ポイント	時間の目安
オリエンテーション		1時間
①論説文 「『新しい博物学』の時代」 「言葉の力」など。	*意見と具体例、全体構成。 *筆者の主張の根拠を示す。 *筆者の主張に対する自分の考え。	8時間
②文学（物語文） 「ウミガメと少年」「故郷」など。	*登場人物の視点、自分の視点。 *主人公の考えに対する自分の考え。	8時間
③詩歌 「春に」「近代の俳句」	*俳句の形式・詩歌の種類、表現技法。 *作者の思いを想像する。	4時間
④古典 「言葉を読み継ぐ」「詩歌の味わい」	*古文全体、歌の意味を考え、とらえる。 *和歌の技法や漢詩の形式。	8時間
⑤話す・聞く 「聞くこと考えること」「話すこと考えること」「話し合うこと考えること」	*意見と根拠の聞き分け。 *キーワードを意識して話す。 *事実と意見の区別。	（通年）
⑥書く 「根拠をあげて述べる」 「想像力をはたらかせて」「文章名人」	*読書感想文。 *初発の感想、まとめの感想。 *鑑賞文 *文の書き換え など。	（通年） 長期休業の 課題
⑦書写	*行書で四字以上の毛筆作品を制作。	6時間

3. 授業を受けるときのポイントと約束

- (1) 授業道具の用意
 - ・教科書、ノート、ワーク、学習漢字ノートの四点セットを用意しよう。
 - ・忘れた時は必ず授業の前に先生に言いにくい。
- (2) 参加の仕方
 - ・自分で考えよう。自分が活動しよう。
 - 他人の答えを写しても国語の力はつきません。他の人の発表を見るだけでは上達しません。自分でやるのが大切です。
- (3) 発表の仕方
 - ・間違いをおそれず、積極的に発表しよう。
 - ・多くの人にはっきりと聞こえる声で発表しよう。
- (4) 発表の聞き方
 - ・友人の意見にしっかり耳を傾けよう。
 - ・先生の説明や他の人の発表は最後まで聞こう。質問はそれから。
- (5) 音読・朗読の仕方
 - ・大きな声で音読・朗読しよう。
- (6) 文字の書き方
 - ・文字は文化です。形の整った正しい文字を書くよう心がけよう。
- (7) 提出物の期日は、必ず守ろう。
 - ・出せない場合は、教科の先生に言いにくいこと。常識です。
- (8) 書写の授業では…
 - ・毛筆の時は、先生が教室に来るまでに習字セットの準備をすませておこう。
 - ・活動時はもちろん、片付けが終わるまで無言で取り組もう。

4. 家庭学習のポイント

○は確実にやってほしい内容。◎はさらに進んで学習できる人のための内容。

- (1) 予習で、
 - 次にやる教材のワークをやろう。
 - *ワークは大いに活用すべし。
 - *ワーク 94 ページ～ 112 ページの『漢字工房』のところはどんどん進んでよい。
 - (2) 漢字練習
 - 学習漢字ノートを使って、毎時間の漢字小テストの勉強をする。また、間違った漢字 1 個につき 3 回の反復練習を「小テスト貼りつけノート」におこなう。
 - *取り組み方については、再度授業で詳しく説明します。
 - ◎ 「国語の家庭学習ノート」を一冊用意して、教科書 218 ページからの『漢字工房』 1～25 の問題をやってみる。
 - (3) 文法
 - ◎ 文法の問題をやる。ワークを活用したり、それで足りない場合は、先生に相談する。
 - *定期テストや実力テストの勉強にもなります。
 - (4) ○ (読書) 様々な種類の本を読もう。
 - (5) ◎ (文章を書く) 毎日、日記をつけてみる。または、週に一度、新聞から興味を持ったコラムを一つ選び、40 字から 80 以内でまとめてみる。「国語の家庭学習ノート」を使用するとよい。
- ※「国語の家庭学習ノート」を準備して家庭学習を進めていく人は、定期的にそのノートを先生に提出して、努力していることをアピールしてください。

5. 評価の方法について

5つの観点で評価します。

【国語に関する関心・意欲・態度】

- *課題の提出、授業における発表、ノート・ワークシートへの書き込み。
- *暗唱テスト
- *定期テストの関心を問う問題で 5 割～7 割の得点が得られれば B。

【話すこと・聞くこと】

- *発言・発表の様子、聞き取りメモ・ワークシートの内容、聞き取りテストなど。
- *暗唱発表
- *定期テストの話す・聞くを問う問題で 5 割～7 割の得点が得られれば B。

【書くこと】

- *授業において、提示された課題を理解し、書くことができる。
 - ・読書感想文
 - ・物語文の授業における初発の感想、まとめの感想
 - ・詩歌の授業における鑑賞文
 - ・論説文の授業における筆者の主張に対する自分の考えのまとめ
 - ・古典の授業における自分の考えのまとめ
 - ・文の書き換え など。
- *定期テストの書くことを問う問題で 5 割～7 割の得点が得られれば B。

【読むこと】

- *音読テスト
- *定期テストの読むことを問う問題で 5 割～7 割の得点が得られれば B。

【言語に関する知識・理解・技能】

- *漢字小テストの点数
- *定期テストの書くことを問う問題で 5 割～7 割の得点が得られれば B。
- *書写作品 (毛筆・硬筆)
- *文章の視写 (ノート)

3年生 『社会科』の学習

1. 社会科の授業で何を学ぶの？

中学校の社会科は、「地理」「歴史」「公民」の3分野に分かれています。1年生、2年生の社会科では、「地理」と「歴史」を学びました。3年生では、「公民」（日本の政治や経済を中心に）を学びます。3年間の社会科の授業を通し、現代の社会をたくましく生き抜くために必要な力を身につけます。学習した知識を基礎とし、これから生きていく中で、物事をどのように考え、どのように判断していくかという大切な能力を磨いていきます。

2. 1年間で学ぶことは？

3年生の公民では、日本の政治と経済について学習します。日本国憲法や政治のしくみ、経済のしくみの学習を通し、民主主義の日本についての理解を深め、将来日本を担っていくための大切な考え方を学び、判断する力を身につけます。また、『平和』について学習を深めます。日本の一員として、また世界の一員として、平和を実現していくために必要な知識を学び、将来、社会に積極的に関わっていくことができる力を身につけます。

公民

1、暮らしと現代	8時間	5、財政の役割	11時間
2、日本国憲法	10時間	6、平和の実現に向けて	16時間
3、地方の政治 国会・内閣 裁判のしくみ	22時間	7、環境問題	4時間
4、経済のしくみ	14時間		

3. 授業をうけるときの約束とポイント！

- 休み時間のうちに授業の準備はをしておきましょう。(チェンクペンは、準備しておきましょう。)
- 話をよく聞きましょう。重要だと思ったこと、知らなかったことなどは、メモしておきましょう。
- 黒板の内容を工夫し、ノートにまとめましょう。
- 各時間に示されるキーワードを意識し、授業に臨みましょう。

4. 家庭学習のポイント

【復習】

- その日学習した範囲で示されたキーワードを教科書を参考に、自分の言葉でまとめましょう。
- ワークを活用しましょう。(最低3回は解きましょう。)
- テレビや新聞などで、学習した内容に関することがらは、メモをしたり、新聞を切り抜きノートに貼っておくなど工夫をしましょう。

【予習】

- 次の時間の学習する範囲を読んでおきましょう。
- 疑問を明確にし、授業に臨めるようにしましょう。

5. 評価の方法について

社会科では、4つの観点『関心・意欲・態度』『思考・判断』『技能・表現』『知識・理解』で評価します。授業へ臨む姿勢、課題の提出、ノートのまとめ方、小テスト、定期テスト、レポート課題、ワークの取り組み方

☆ 自分自身が学ぼう！とする意欲が一番大切です。頑張りましょう！

数学の学習の仕方(第3学年用)

数学の力を身につけていくためには、**繰り返しの練習と発想(アイデア)**がとても大切です。次の項目は、数学の学習をするために必要なことばかりです。これらの学習のきまりを守って勉強すれば、きっと数学が上達するでしょう。

(1) 毎日用意するもの

- ・鉛筆またはシャープペンシル
- ・赤ボールペンと他の色のボールペン(2色)
- ・直定規(15cmくらいのもの)
- ・大学ノート(B5 サイズのできるだけ厚手のもの、40枚程度)
- ・学校で指定された教科書と問題集(ワーク)
- ・三角定規やコンパス(普段入りません。主に図形の勉強の時に使います)

(2) 授業中の心得と約束

- ・先生の説明をよく聞き、例題(本日の学習課題)の解き方をしっかりつかみましよう。
- ・自分の考えを進んで発表しましょう。(自分の答に自信を持とう。たとえ間違っている、間違いから事実を発見し次のミスをなくしていく手がかりになります) また、他の解き方にも注目しましょう。
- ・与えられた問題をやり終えたら、類似する問題をワークなどから探して自ら進んで解きましよう。
- ・学習用具や宿題は忘れない。

(3) ノートの書き方 ⇒ ノートは学期に1回程度提出し点検します

後から自分が見たときにわかるように、はっきり丁寧に書くことが大事です。ノートをもったいないと思わず、余白を適当にとっておき、後で書き込めるようにしておきましょう。

- ・問題を書き写し、途中の計算は省略せず正しく書きましよう。
- ・間違った部分は消さずに残しておき、間違った部分を正答に直しましよう。
- ・重要な内容は、アンダーラインを引くなど工夫して整理しておきましよう。
- ・プリント類はきちんと貼っておきましよう。
- ・図は定規やコンパス等を使ってきちんと書きましよう。

(4) デカノートについて

毎時間授業でやった内容や板書を残しておくノートです。全員でローテーションして書いていきます。授業を休んだ人や、板書を取れなかった人、テスト前に復習したい人など、全員共通の授業ノートになります。はっきりと見やすいノートにしましよう。

ノートは担当者がその日のうちに提出してください。

(5) 復習の仕方 ⇒ 必ず復習しましよう

- ・ノートを読み直し、はっきりしないところや十分理解できなかったところがあれば、教科書を参考に書き加えて理解を深めます。
- ・授業で間違った問題をもう一度やってみます。
- ・宿題があったらやります。
- ・授業で学習したところの問題を問題集(ワーク)で解いてみます。

(6) 学習内容と計画

第1章「平方根」	15 時間
第2章「多項式」	17 時間
第3章「2次方程式」	17 時間
第4章「関数 $y = ax^2$ 」	14 時間
「円周角」	7 時間
第5章「相似な図形」	19 時間
第6章「三平方の定理」	14 時間
「標本調査」	4 時間

内容のたしかめ	16 時間
いろいろな問題	8 時間
数学の自由研究	8 時間
中間テスト(1回)	1学期はありません
期末テスト(3回)	毎学期末に1回
実力テスト(3回)	
単元テスト(随時)	単元や章の終了時など
授業時間の合計は 140 時間です。	

(7) 評価と評定について

評価と評定は、1学期、2学期、学年末の3期において観点別評価及び5段階評定を総括して、通信表にて本人に通知します。

① 観点別評価について

- ・評価規準ごとに評価資料(※)を集約して、満点に対する達成率で算出します。
- ・学期内で評価したすべての項目(学年末は年間すべて)の平均達成率で算出します。

観点別評価	
充分満足できる	【A】
おおむね満足できる	【B】
努力を要する	【C】

② 5段階評定について

- ・各観点の平均達成率をさらに平均化し、総合達成率を算出します。

※観点別評価基準ごとの評価資料

関心・意欲・態度	授業観察	発言・発表	ノート・ワークチェック	自己評価	課題提出
数学的な見方考え方	授業観察	発言・発表	単元小テスト	定期テスト	
表現・処理	授業観察	単元小テスト	定期テスト		
知識・理解	授業観察	単元小テスト	定期テスト	自己評価	

≪5段階評価の具体例≫

No.	生徒氏名	関心・意欲・態度		数学的な見方・考え方		数学的な表現・処理		知識・理解		1学期評定	
		評価	達成	評価	達成	評価	達成	評価	達成	評定	総合達成
E01	大野 太郎	A	80%	B	68%	B	71%	A	86%	4	76%
F12	北斗 次郎	B	66%	B	55%	C	42%	A	81%	3	61%

3年理科 学習の手引き

1. 教科の特色

中学校の3年間を通して、日常起こっている、あるいは目にすることがある様々な自然現象について、観察したり、その仕組みについて調べていきます。
 その中で、科学的なものの見方や考え方を身につけていきましょう。また、いろいろな実験・観察を通して、君たちがまだ知らない多くの発見があると思います。

2. 今年度の学習計画

単元名	キーワード	授業時間のめやす
生物の細胞と増え方	動物、植物の細胞の共通点や遺伝の規則性を探る	18時間
運動と力	等速直線運動や慣性の法則、斜面や落下運動など、身のまわりでおきる運動を探る	22時間
エネルギー	さまざまな場合のエネルギーについて調べるとともにエネルギーの有効利用の方法を探る	36時間
地球と宇宙	太陽などの身近な天体を通して宇宙への興味関心を育てる	26時間
科学技術・自然と人間	科学技術と生活との関係を探ることや微生物と人間の関係から自然環境を保全する重要性を学び取る	38時間

3. 授業を受けるときのポイントと約束

「先生の話しや指示をしっかりと聞くこと」

とにかく、先生の指示をきちんと聞くことがもっとも大切です。そのためには、話しをしないで待つ姿勢ができないといけません。理科室で、観察や実験を行うときには、危険な薬品や道具を使う場合があります。事故があつてからでは遅いのです。また、自分だけでなく他の人にも危険が及ぶ場合もあるので、この点を十分注意してほしいと思います。

「間違つて当たり前、積極的に発言を」

授業では自分の考えや意見を積極的に発表してほしいと思います。理科ばかりではなく他の教科でもそうですが、みなさんはこれからわからないことや知らないことを学んでいくわけですから、知らなくて当たり前、わからなくて当たり前なのです。自分の考えを発表してこそ、科学的な思考が深まると思って下さい。

4. 家庭学習のポイント・・・とにかく復習！

家庭学習で最も大事なものは、その日なを学んだのかしっかりと復習することです。わかったことやわからなかったことの区別をしっかりとつけることが大切です。そして、わからなかったところを早いうちに、友達や先生に聞いたりして解決しましょう。また、教科書・ワークだけが勉強とは限りません。新聞やテレビにも理科に関係のある話題がたくさんあります。毎日目を通す習慣をつけましょう。

5. 評価の方法について

観 点	評 価 規 準	評 価 方 法
1. 自然事象への関心・意欲・態度	・自然事象について関心を持ち、意欲的に追求しようとする姿勢がある。	授業中の観察・ノート点検 忘れ物・提出物・小テスト等
2. 科学的な思考	・自然事象について、科学的にとらえたり筋道だった考えができる。	発表の観察・レポート 小テスト・定期テスト 等
3. 観察・実験の技能・表現	・実験器具を正しく、安全に扱うことができる。 ・的確なスケッチやグラフ処理等ができる。	授業中の観察・レポート 小テスト・定期テスト 等
4. 自然事象についての知識・理解	・自然事象についての基本的な知識・理解がある。	小テスト・定期テスト 等

英語科 学習の手引き

1. 英語は大切な言葉である

私たちは、なぜ英語を学んでいるのだろうか？ おそらく、高校入試に必要なだからと考えている人も多いと思います。しかし、それだけではなく、英語の学習を通して外国人の考え方や文化の違いを知ることも大切な学習の意義だと思っています。

世界中で100数十カ国（約3億人）もの人々が英語を日常的に話しています。自分の国だけの考えだった今までよりも、世界の人たちの考え方や文化を学ぶことで、自分の正解を広げることができます。英語は世界中で最も通用する「国際語」です。日本人も世界各地で英語を使って「国際人」として活躍している人が多くいます。また、日本の企業では英語を使って仕事をする企業が増えてきています。

世界各国との交流が多い日本の中で「英語は日本人には必要ない」とか「日本にいるから日本語しか必要ない」という古い考えは捨てましょう。基礎的な英語力を身につけ、「国際人」への第1歩を踏み出しましょう。

2. 授業の進め方（例）

担当する先生によって、授業のスタイルはそれぞれです。

（1）前の時間の復習

前の時間に学習したことを復習します。本文の内容や文法事項など学習した内容が理解できているかを確認し、学習内容を着実に身につけてください。

（2）新しい文法の説明・練習

新しく習う文法事項をしっかり覚え、身近なことを表現できるようにしましょう。文法で大切な文を声に出して何回も発音練習することが大切です。間違いをおそれずに声に出しましょう。

（3）新出語句

新しい単語、熟語の意味、発音練習などをします。

（4）内容理解と読み方

本文の内容を先生の英語やCDから聞きます。聞いた後は先生やCDの後に続いて読みますので、大きな声で一斉に英文を読みましょう。

また、重要文や重要語句の説明をします。先生の説明をよく聞きながら学習を進めてください。プリントなどにも積極的に取り組みましょう。

（5）ワークブックの取り組み

教科書のユニットなどの内容をワークブックで確認します。宿題になることもあります。

3. 授業への参加について

- (1) 準備 教科書、ノート、A4 ファイル（どんなものでも構いません）
筆記用具（ペンなども含む）
- (2) 課題 ・本文の英語をノートに写す ・新出語句の意味調べ
- (3) ノートの使い方

タイトル 教科書の本文	日本語訳もしくは先生から出されたプリント
新出語句（単語と熟語）	新出語句の練習

4. 授業中に気をつけてほしいこと

- (1) その時間の目標を意識して取り組むこと
- (2) 英語で「話す」「読む」時は声を出しましょう。（みんなで学習しましょう。）
- (3) 「分からないこと」は、授業の後に先生に質問しましょう。
- (4) 授業で学習したことは、その日のうちに復習しましょう。

5. 家庭学習の仕方

- (1) 復習について
 - ・学習した英文を声に出しながら書き、覚えられるまで練習しましょう。
 - ・教科書やワークブック、問題集の問題に取り組みましょう。
 - ・小テスト前やテスト前にテスト対策をしましょう。
- (2) 予習について
 - ・新出語句と熟語の意味を教科書で調べ、ノートに書きましょう。
 - ・ノートの使い方を参考にし、本文の英文を書き写しましょう。

3年生 音楽科の学習

1. 教科の特色

音楽の授業では、おもに『歌唱』『器楽』『鑑賞』について学習します。
『歌唱』では、教科書やコーラスフェスティバルの曲を歌います。『器楽』では、アルトリコーダーで演奏する技術を学習します。『鑑賞』では、有名な曲を聴き、雰囲気を感じ取り言葉で表す学習をします。
これらの学習を通して、『音を楽しむこと』『一生にわたって音楽に親しんでいける心』をやしなっています。

2. 今年度の学習計画

単元のなまえ	授業時間のめやす
校歌、花	2 時間
ボレロ	3 時間
心の瞳	4 時間
帰れソレントへ	2 時間
サムの一とりごと	2 時間
星に願いを	4 時間
勸進帳	4 時間
アイーダ	4 時間
世界と日本の歌声	3 時間
旅立ちの日に	4 時間
春に	4 時間

3. 授業をうけるときのポイントと約束

- ・ 座席は決められた通りに座りましょう。
- ・ 恥ずかしがらずに、しっかり声を出して歌おう。
[声が裏返ったり音を外してしまうのは、恥ずかしいことではありません。]
[“歌うぞ” という意識をしっかりとって一人ひとりが、がんばりましょう。]
- ・ 服装、身だしなみをきちんと整えてから音楽室に来ましょう。
- ・ 教科書、その他必要な学習用具を忘れないようにしましょう。
- ・ 休み時間にピアノを使ってもいいですが乱暴にあつかって壊さないようにしましょう

4. 評価の方法について

- 4つの観点で評価します。
- 【音楽への関心・意欲・態度】・・・授業態度、目標シートへの書き込み
 - 【音楽的な感受や表現の工夫】・・・期末テスト、授業中の様子
 - 【表現の技能】・・・実技テスト、授業中の様子、期末テスト
 - 【鑑賞の能力】・・・期末テスト、プリントへの書き込み

3年「美術科」の学習

1. 3年生に期待すること

美術科がめざす生徒像や授業の約束事項は「美術科オリエンテーション」に書いてありますので、確認してください。その上で、3年生では、昨年まで学んだ全ての教科の「基礎基本」を土台に卒業制作としての作品づくりに挑戦します。次の点を守りながら自分自身と対峙し、新たな自分を発見してください。

- * 今まで学習したことを生かし、すべてに意欲的にとりくみ、真正面から自分を表現しよう。
- * 本物を積極的に鑑賞し、美しさがわかる人に成長しよう。
- * 平和の大切さを学習し平和を守る人になるために、物や人、全ての生き物を大切にしよう。そして、善悪の判断をしっかりと持ち、正しく生きる人間になろう。

2. 今年度の学習計画

単元	キーワード	時間のめやす
オリエンテーション	やる気	1時間
①自分の想いを封印しよう (ペーパーウエイト)	テーマ・封印物・タイムカプセル・色彩・形の条件・樹脂の性質・磨き	12時間
②鑑賞	第一印象・表現・工夫点・作者・美術史	5時間
③幼い頃の自分を表現しよう (スクラッチボード)	写真・スクラッチ・ニードル・塩ビ板・ハッチング・塗装	12時間
④世界一小さい模写に挑戦しよう	画集・スケッチ・彩色・作品集	4時間
⑤特別授業 (日本が世界に誇れるもの)	文化・世界と日本・国際社会・日本国憲法・平和と芸術・民主主義と選挙・生き方	1時間

3. 授業を受けるときのポイントと約束

- * 忘れ物をしないこと。
- * 休み時間のうちに美術室に移動し授業準備を早めに終えること。(特に5時間目の授業)
- * 作品に自分があらわれます。自分自身としっかり向き合い、妥協しないこと。
- * 作品を大切にしよう。
(詳しいことは「美術科オリエンテーション」に書いてあります。)

4. 家庭学習のポイント

できるだけ「本物」をたくさん見て「美しさ」と「本物」を感じ取れる目を養おう。そのためにも美術館に行って自分の目で直接作品を鑑賞する機会を自分からたくさんつくろう。

5. 評価の方法について

- 4つの観点で評価します。
- 【美術に対する関心・意欲・態度】・・・作品やファイルの提出、忘れ物、授業態度、テスト
 - 【発想・構想の能力】・・・アイディアスケッチ、作品の説明、発表の内容
 - 【創造的な技能】・・・作品、スケッチブック、テスト
 - 【鑑賞の能力】・・・鑑賞ワークシート、発表の内容、自己評価シート

保健体育科の学習の仕方

1. 保健体育科の学習について

「健全な精神は健康な身体に宿る」といわれていますが、人間社会において目標に向かって生きていくうえで健康な心身であることがなによりの条件です。

特に、皆さんのような中学生の時期は心身に合った適切な運動をすることが、望ましい身体の発育と体力の向上、そして健康な心身を生み出すことができることから、そのことについて学ぶ中学校の保健体育はとても大切な学習といえます。

運動の特性に触れ、スポーツの楽しさや厳しさを味わいながら、生涯にわたってスポーツに親しんでいける能力を身につけましょう。

2. 具体的な学習の仕方

(1) 始業前

- ① 体育の知識学習や保健の学習は、教室で行うこともありますので、教科連絡をしっかり聞き、忘れ物のないように準備してください。
(学習カード・ノート・筆記用具など)
- ② 実技授業は体育館やグラウンドを中心に行います。教科連絡係の生徒は早めに職員室に来て先生の指示を受け、学級全体に連絡してください。
- ③ 実技の時は(見学時も含めて)指定の服装(ジャージ・Tシャツ・ハーフパンツ)に着替えます。
- ④ 教科連絡係の指示に従い、用具の準備(後始末)もしてください。
- ⑤ 着替えは早めにし、準備運動(補強運動)もそろって取り組みます。

(2) 授業中

- ① あいさつは元気よく行います。「はじめます」「終わります」
- ② 先生の話をよく聞き、その日の授業の目標や内容を確認します。
- ③ 先生の指示に従い、集中して授業に取り組みます。

一人一人は

どれ程上手か、どれ程体力がすぐれているかではなく、以前よりどれだけ上達したか、どれだけ体力が向上したか、そのためにいかに努力したかを大切にします。

グループは

みんなが向上するためにグループがどのように努力し合うか、他のグループに比べてどんな工夫が必要か、不得意な仲間をどう手助けするかなどを学習します。

- ④ 集合・整列は素早く行います。
- ⑤ 競技会・ゲーム・発表会や審判の仕方を理解して、自分たちで運営できるようにします。
- ⑥ 用具の準備や後始末は協力して行います。(整理運動も自主的に)

(3) 家庭学習について

- ① 家庭での特別な学習をする必要はありません。
- ② 長期の休みなどは、家に閉じこもりがちなので、外で思い切って体を動かす工夫をしましょう。

3. 評価の方法について

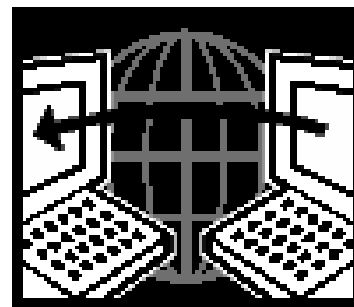
- (1) 関心・意欲・態度 . . . 学習カードの提出度
忘れ物
授業態度（積極性や協力性など）
目標設定の仕方
- (2) 思考・判断 . . . 学習カードの内容（課題解決への取り組みや反省）
課題解決に向けた個人やチームの工夫度
- (3) 技能 . . . 技能の到達度
- (4) 知識・理解 . . . 期末テスト

4. 年間計画（案）

* 2年生はこれに、「新体力テスト」を実施します。

月	内容	主な体育行事
4月	・オリエンテーション、集団行動、ラジオ体操 校内体育大会に向けて（陸上競技） ↓	・校内体育大会 ・中体連陸上競技大会 ・中体連各種競技大会
5月	・陸上競技 ↓	
6月	} ・球技Ⅰ（バレーボール）	
7月		
8月	・長距離走（体づくり運動） ↓	・校内球技大会
9月	・ダンス（フォークダンス・ボールルームダンス他） ↓	
10月	・武道（剣道） ・校内球技大会に向けて（バレーボール） ↓	
11月	・器械運動（マット運動）	
12月	・体育に関する知識（保健学習）～3月まで ・器械運動（マット運動・跳び箱運動） ↓	
1月	・器械運動（跳び箱運動） ↓	
2月	} ・球技Ⅱ（バスケットボール）	
3月		
その他【学習メモ】 ----- ----- -----		

3年「技術科」の学習



1. 教科の特色（この教科を通して何を学ぶのか）

3年生は「情報」について学習をします。1, 2年生でも「情報」の学習をしてきましたが、3年生ではネットワークを中心に学習をしていきます。情報が社会に与える影響力や、しくみについて学びます。

これらの学習を通して、情報社会における私たちの生活の仕方や、情報を扱う時の大切なことについて身に付けていきます。

2. 今年度の学習計画

学習内容：「情報」

単元のなまえ	キーワード	授業時間のめやす
オリエンテーション		1時間
①生活と情報のかかわり	情報社会・メディア・データ	2時間
②ネットワークと情報収集	LAN・パケット・WAN リンク・検索エンジン・Web など	5時間
③情報モラルとコンピュータの利用	著作権・肖像権・個人情報 など	5時間
④メディアの実習	ファイル形式・拡張子・BMP など	5時間

3. 授業をうけるときのポイントと約束

<普通教室では>

・話をよく聞き、黒板の内容をノートに書くことは大切ですが、「考える」ことがもっと大切です。授業中に
出された課題をしっかりと考え、ノートにまとめたり、発表をしましょう。

<実習室では（OA教室）>

- ・身だしなみをきちんとしましょう。（OA教室での靴下は大丈夫？）
- ・OA教室には、ロッカーなどの荷物をしまうところはありません。荷物（ジャージ）やカバンをもってこないこと。
- ・作業場所の整理整頓をきちんとしましょう。
- ・よく話を聞いてから、作業を始めましょう。

4. 家庭学習のポイント

・テレビや新聞などのニュースに関心を持ち、「ネット犯罪」「個人情報」に関する記事については、メモを
したり、記事を貼ってまとめておくなどして、普段から関心をもっていると、学校での授業がより深まりま
す。

5. 評価の方法について

4つの観点で評価します。

- 【生活や技術への関心・意欲・態度】・・・課題の提出、授業中における発表、ノートへの書込
- 【生活を工夫して創造する能力】・・・ノートへの書込内容、授業中における発表内容
- 【生活の技能】・・・OA教室での実習、作品
- 【生活や技術についての知識・理解】・・・期末テスト、小テスト

3年「家庭科」の学習

1, 教科の特色

3年生は「消費生活と環境」について学習します。
家庭生活と消費との関わりについて学習し、私達がよりよい消費生活を送るための工夫を考えていきます。そして消費生活が環境に与えている影響を考えて、生活の仕方を工夫できるように目指して頑張ります。

2, 今年度の学習計画

学習内容「消費生活と環境」

単元のなまえ	キーワード	授業時間のめやす
オリエンテーション 生活に必要な物	物資とサービス	2
①商品の選択と購入	販売方法 支払い方法 悪質な販売方法 トラブルの解決	6
②消費生活と環境	法律 環境への影響	3
③学習のまとめ	作品	6

3, 授業をうける時のポイントと約束

〈普通教室では〉
・話をよく聞き、考え、発表する。また、他の人の意見も聞いて自分の考えをより豊かにすることが大切です。

〈家庭科室では〉
・主に実習（調理や作品製作）をするときにここで行います。
・忘れ物に気をつけましょう。
・よく話を聞いてから、真剣に作業に取り組みましょう。

4, 家庭学習のポイント

・家族の一員として家庭生活に関心を持ち、進んでお手伝いをしましょう。また、テレビや新聞などにも授業に関係しているニュースが多々あります。新聞記事の切り抜きをとっておくのも良い方法です。より授業が深まり、自分の考えにも幅がでてきます。

5, 評価の方法について

4つの観点で評価します。

【生活や技術への関心・意欲・態度】・・・課題の提出、授業中における発表、ノート、プリント
【生活を工夫して創造する能力】・・・課題の提出、授業中における発表、ノート、プリント
【生活の技能】・・・作品
【生活や技術についての知識・理解】・・・期末テスト、小テスト